

防衛施設学会

入場無料

Admission Free

平成31年2月7日 (木)

10:00~17:20

ホテルグランドヒル市ヶ谷

7 February 2019 10:00-17:20 Hotel Grand Hill Ichigaya

年次

フ

ォ

ー

ラ

ム

Japan Society of the Defense Facility Engineers



主催

Organizer



一般社団法人 防衛施設学会

Japan Society of the Defense Facility Engineering

後援

Supporters



防衛省

Ministry of Defense



独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency



公益財団法人 防衛基盤整備協会

Defense Structure Improvement Foundation

2019

Annual Forum

一般社団法人防衛施設学会年次フォーラム2019プログラム JSDFE 2019 Annual Forum Program

日時：平成31年2月7日（木） 10：00～17：20 7 February 2019 10:00-17:20
於：グランドヒル市ヶ谷3F 瑠璃の間 Venue: Hotel Grand Hill Ichigaya 発表15分，質疑応答5分

10:00－10:05 開会あいさつ(防衛施設学会理事) Opening Remarks (Director of JSDFE)

10:05－11:25 防災・建設施工 Disaster Prevention, Construction

座長：福田 直也(会計検査院) Chair: Fukuta, Naoya (Board of Audit)

- A1** ミクロ交通シミュレーションを活用した大規模工事における工事車両の運行管理について
Vehicle operation management of construction vehicles during large scale construction using micro traffic simulation model
○内海泰輔, 梅田岳明((株)長大), 國武正大(航空自衛隊), 中島和彦(九州防衛局)
Utsumi, T., Umeda, T. (Chodai Co., Ltd.), Kunitake, M. (JASDF), Nakashima, K. (Kyushu Defense Bureau)
- A2** 長浦(27) 棧橋整備工事 キャメル受け部の施工 Construction of Nagaura Pier
○栗駒広規(南関東防衛局), 伊藤忠信(五洋建設(株)), 由衛真吾(東洋建設(株)), 福地啓太(黒沢建設(株))
Kurikoma, H. (South Kanto Defense Bureau), Itou, Y. (Penta-Ocean Const. Co. Ltd.),
Yue, S. (Toyo Const. Co., Ltd.), Fukuji, K. (Kurosawa Const. Co. Ltd.)
- A3** 九州北部における沿岸生物の生息地創出の取り組み事例
Case study on habitat creating of coastal creatures in northern Kyushu
○峰松 睦, 神山博志(日本工営(株)), 浜野龍夫(徳島大学)
Mimematsu, M. (Nippon Koei Co., Ltd.), Hamano, T. (Tokushima University)
- A4** 最近発生した地震による貯水槽被害の特徴に関して
Damage characteristics of water tank due to recent earthquake
○新井 学, 坂本 智(新日本設計(株)), 平野廣和(中央大学)
Arai, M., Sakamoto, S. (Shinnihon Sekkei Co., Ltd.), Hirano, H. (Chuo University)

11:25－11:40 休憩・展示見学 Break & Exhibition Tour

11:40－12:40 基地管理・周辺対策 Base Management & Countermeasures

座長：佐久間太佑(経済産業省商務情報政策局) Chair: Sakuma, Taisuke (Bureau of Commerce and Information Policy, METI)

- B1** 化学兵器の処理経験から見た軍用跡地の浄化へのアプローチ
An approach to cleaning up of military sites Based on experience of demilitarization of chemical weapons
○朝比奈潔((株)GP&P)
Asahina, K. (GP&P Co., Ltd.)
- B2** 自衛隊東富士演習場一帯のスコリア堆積斜面モニタリングにおける航空レーザ測量とUAV写真測量の応用
An application of aerial laser surveying and UAV photogrammetry in monitoring of scoria sedimentary slope at JSDF East Fuji Maneuvering ground
○前田修, 加藤正治(静岡県小山町), 青木克則, 望月泰介(静岡県)
Maeda, O., Kato, M. (Oyama town Shizuoka Pref.), Aoki, K., Mochizuki, T. (Shizuoka Pref.)
- B3** 国土強靱化に向けた業務継続地区(BCD)形成におけるエネルギーネットワーク整備について
～北海道胆振東部地震による大規模停電時における札幌市中心部及び小樽の電気・熱供給実態～
Energy network improvement in business continuity district for land resilience -Heat and power supply in central area of Sapporo and Otaru during a blackout due to Hokkaido Eastern Iburi earthquake
○原 英嗣(国土館大学)
Hara, E. (Kokushikan University)

12:40－13:30 休憩・展示見学 Break & Exhibition Tour

13:30－14:30 爆発・衝突 Explosion and Collapse

座長：古川 健(防衛省防護施設研究室) Chair: Furukawa, Takeshi (Protective Design and Research Office, MOD)

- C1** 接触爆発を受けるスラリー充填繊維コンクリートの耐爆性能に及ぼす繊維種類の影響
Influence of fiber type on blast resistance of slurry infiltrated fiber concrete under contact detonation
○山口 信, 森島慎太郎(熊本大学), 兼安真司, 居石鉄平(日鉄住金高炉セメント(株))
Yamaguchi, M., Morishima, S. (Kumamoto University),
Kaneyasu, S., Sueishi, T. (Nippon Steel & Sumikin Blast Furnace Slag Cement Co., Ltd.)

- C2** 剛飛翔体の衝突を受ける超高強度繊維補強コンクリートパネルの耐衝撃性に関する基礎的研究
A Fundamental study of the impact resistance of UHPFRC panels subjected to hard projectile impact
○片岡新之介,別府万寿博(防衛大学校),武者浩透(大成建設(株))
Kataoka,S., Beppu,M. (National Defense Academy) , Musha,H. (Taisei Corp.)

- C3** 【技術部会報告】衝突および爆発作用を受ける構造物の安全性に関する設計ガイドラインについて
"JSDFE report" Design guidelines on safety assessment of structures subjected to projectile impact and explosive load
○別府万寿博(防衛大学校)
Beppu,M. (National Defense Academy)

14:30-14:40 【後援団体より】 Supporters Presentation

PARTNER(国際キャリア総合情報Webサイト)の紹介 (独立行政法人 国際協力機構(JICA))
PARTNER - Participatory network for expert recruitment - (Japan International Cooperation Agency(JICA))

14:40-14:55 休憩・展示見学 Break & Exhibition Tour

14:55-15:55 ミリタリー・エンジニアリング Military Engineering

座長:馬淵大輝(内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付)
Chair : Mabuchi, Daiki (Bureau of Science, Technology and Innovation, Cabinet office)

- D1** 災害対策活動に資する高速で長距離を飛行できるドローン「SPIDER-NE」の開発
Development of drone "SPIDER-NE" capable of flying long distances at high speed to contribute to disaster countermeasures
○渡辺 豊,高橋孝治(ルーチェサーチ(株))
Watanabe,Y., Takahashi, T. (Luce Search Co.,Ltd.)

- D2** IoT・映像鮮明化・AI技術を活用した施設管理と防衛分野展開
Facility management and defense field development utilizing IoT, video clarification, AI technology
○横山雅俊((株)ユニバーサルコンピュータ研究所)
Yokoyama,M. (Universal Computer Laboratory Co.,Ltd.)

- D3** 先進技術による日本国内インフラのサイバー防衛能力改革
～重要インフラへの電磁波パルス(EMP)対策(イスラエルでの経験から)～
Transforming Japan's infrastructure cyber defense capability with advanced technology
～Learning from Israel's experience in the field of EMP countermeasure for critical infrastructure
○ヤロン ローゼン((株)サイバーコーポレーション)
Brig. Gen. (Ret.) Rosen, Y. (Cyber corporation Co.,Ltd.)

15:55-16:10 休憩・展示見学 Break & Exhibition tour

16:10-17:10 特別講演 Special Lecture

『我が国の最新国防事情』

Foreign Affairs and National Security

講師:佐藤 正久 先生(参議院議員、外務副大臣)

Lecturer: Mr. SATO, Masahisa (Member of the House of Councillors, State Minister for Foreign Affairs)

【特別講演 講師紹介】

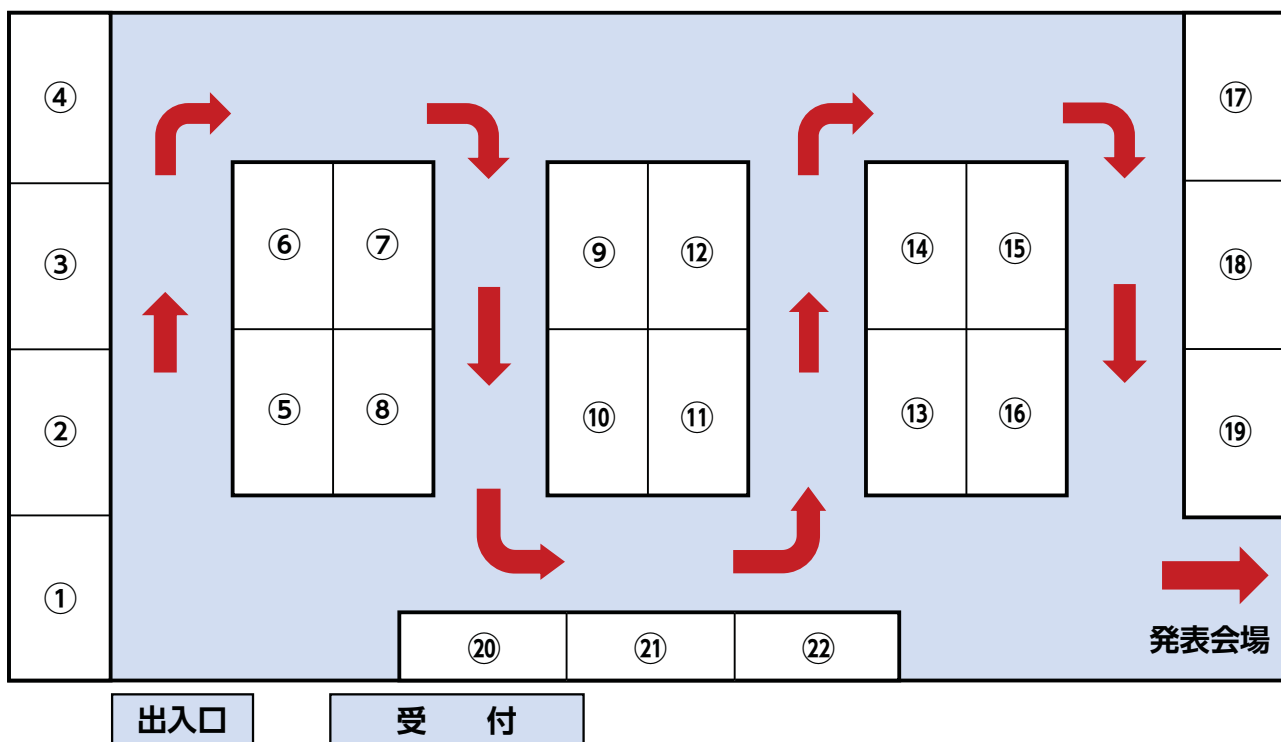
佐藤 正久 先生(参議院議員、外務副大臣)

略歴:昭和58年 防衛大学校卒業(応用物理学科、27期)、陸上自衛隊入隊
平成59年 第4普通科連隊(帯広)
平成 4年 外務省アジア局出向
平成 6年 第5普通科連隊中隊長(青森)
平成 8年 国連PKOゴラン高原派遣輸送隊初代隊長
平成16年 イラク先遣隊長、第7普通科連隊長(福知山)
平成19年 参議院議員選挙当選
平成24年 防衛大臣政務官
平成28年 参議院外交防衛委員長
平成29年 外務副大臣

17:10-17:20 閉会あいさつ(防衛施設学会理事) Closing Remarks (Director of JSDFE)

17:30-19:30 名刺交換会 Business Card Exchange Party (参加費¥3,000)

会場マップ Hall MAP



出展企業ブース Exhibition Companies Booth

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ① 株式会社安部日鋼工業 | ⑪ 株式会社鴻池組 |
| ② 株式会社フソウ | ⑫ 中国電力株式会社・
中国高圧コンクリート工業株式会社 |
| ③ 日本バイリーン株式会社 | ⑬ 積水化学工業株式会社 |
| ④ 日鉄住金高炉セメント株式会社 | ⑭ 株式会社ヤマックス |
| ⑤ 大和探査技術株式会社 | ⑮ 株式会社NDSネットワーク・
株式会社落雷抑制システムズ |
| ⑥ 株式会社シーエー | ⑯ 大成建設株式会社 |
| ⑦ ダイプラ株式会社 | ⑰ 前田建設工業株式会社 |
| ⑧ 奥村組土木興業株式会社 | ⑱ 大日本コンサルタント株式会社 |
| ⑨ 株式会社三井E&S テクニカルリサーチ | |
| ⑩ 東光鉄工株式会社 | |

出展団体ブース Exhibition Organizations Booth

- ⑲ SAME (Society of American Military Engineers)
 ⑳ 認定特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会 (JMAS)
 ㉑ 独立行政法人 国際協力機構 国際協力人材部 (PARTNER)
 ㉒ 防衛省・自衛隊 東京地方協力本部

出展企業の紹介

Exhibition Companies

No. 01 PCaPC 構造の射撃場

高炉スラグ微粉末を用いたプレキャストPC構造物
 ●PCaPC（プレキャストプレストレストコンクリート）技術
 均質かつ高品質な工場製品の活用により、工期短縮が可能。
 ●高炉スラグ微粉末を用いた高耐久コンクリート
 一般のコンクリートよりも強度が高く塩害にも強いコンクリートを採用。



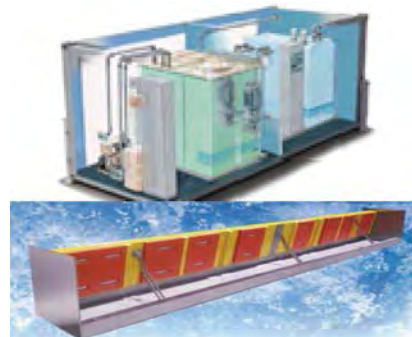
株式会社安部日鋼工業

〒161-0033 東京都新宿区下落合2丁目3番18号SKビルS棟3F
 TEL : 03-5906-5621 FAX : 03-5906-5270
 E-mail : info-hp@abe-nikko.co.jp URL : http://www.abe-nikko.co.jp

No. 02 災害時に優れた製品

Excellent products in the time of disaster

弊社は、「水と共に生きる」を企業理念に、水インフラに関する資機材の製造・販売から、設計・施工・メンテナンスまで行う総合水企業です。
 近年、ゲリラ豪雨など大規模な災害が増えている中で弊社では災害時に備え「移動式給排水ユニット」や「浮力式浸水防止板」など優れた製品をラインナップしております。



株式会社フソ
FUSO Corporation

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目23番5号
 TEL : 03-3552-7051 FAX : 03-3552-7002
 URL : http://www.fuso-inc.co.jp E-mail : info@fuso-inc.co.jp

No. 03 サビから守る塩害防止フィルタ

Sea Salt Removal Filter

施設、設備、機器をサビの原因海塩粒子の脅威から守る、エアフィルタです。

- 次世代エアフィルタの外枠はサビにくい金属からサビない樹脂枠へ・・・!!
- (1)撥水性不織布ろ材で、捕集した海塩粒子を再飛散させません!
- (2)海塩粒子捕集95%以上誇る、高い捕集効率と保持能力
- (3)連続密度勾配構造により長寿命化! フィルタの圧損急上昇問題を解決!

VILO SALT



さらば塩害



日本バイリーン株式会社

〒104-8423 東京都中央区築地五丁目6番4号浜離宮三井ビルディング
 TEL : 03-4546-1166 FAX : 03-4546-1162 URL : http://www.vilene.co.jp/

No. 04 高流動無収縮グラウト材 エッセイバーによるプレパックド工法

Prepacked Concrete Construction Method Using S-SAVER

- エッセイバーは、セメント系高流動無収縮グラウト材です。自己流動性に優れ、1～5mmの小間隙の充填が可能です。可使時間が数時間程度あり、長時間の注入作業や暑中工事に最適です。硬化後は長期間に渡って膨張を維持し、注入した間隙の構造強化に貢献します。
- エッセイバーはプレパックド工法の注入材としても使用できます。インフラの未整備な島嶼や山岳地帯、緊急事態における施設復旧工事等に活用できます。



エッセイバーの適用事例

日鉄住金高炉セメント株式会社

Nippon Steel & Sumikin Blast Furnace Slag Cement Co., Ltd.

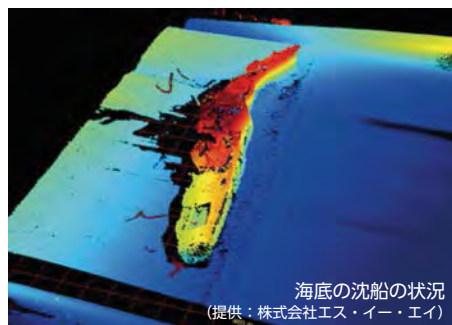
〒803-0801 福岡県北九州市小倉北区西港町16番地

TEL : 093-563-5118 URL : <http://www.kourocement.co.jp/sld/>

No. 05 音響測深機を用いた海底探査技術

インターフェロメトリ音響測深機により海底の詳細な状況（深度及び障害物等）を把握して、防衛施設構築及び部隊行動を円滑化

- 物理探査：弾性波探査、浅層反射法探査、高密度電気探査、音波探査、物理検層、地中レーザ探査
- 地質調査：ボーリング、地表踏査
- 環境調査：地下水調査、土壌汚染調査、公害調査（騒音、振動、水質）
- 測量：陸測、海測、GPS測量
- 研究開発：測定機器・解析システムの開発・販売
- その他：映像鮮明化システムの販売・リース（協力会社：ユニバーサルコンピュータ研究所）



海底の沈船の状況
(提供：株式会社エス・イー・エイ)

DAIWA

大和探査技術株式会社

Daiwa Exploration & Consulting Co., Ltd.

〒135-0016 東京都江東区東陽5-10-4

TEL : 03-5633-8080 FAX : 03-5633-8484

URL : <http://www.daiwatansa.co.jp>

No. 06 アベイラスハイブリットストーン

ノンエネルギー・メンテナンスフリーな安全・暗闇対策

いつ起こるかわからない暗闇対策として、20年後も機能し続ける吸水率0%＝撥水率100%の蓄光製品：アベイラス・アルシオール。
新幹線のホームや駅構内床面にも使用されて、長期防滑機能維持する防滑床材：アベイラス・アンプロップによる安全・暗闇対策の御提案。



株式会社シーエー

Contribution to the area

〒425-0027 静岡県焼津市栄町5-9-3

TEL : 054-627-3277 FAX : 054-628-8007

URL : <https://www.ca-corp.jp/> E-mail : info@ca-corp.jp

No. 07 高密度ポリエチレンを用いた製品

ハウエルタンク、ハウエルシェルター

弊社はプラスチックメーカーとして、高密度ポリエチレンを用いた様々な口径、形状の管（ハウエル管）の製造を行ってきました。この製造、加工技術を生かし、タンク、シェルターを開発しました。高密度ポリエチレンで製造されたタンク、シェルターは高強度で耐衝撃性、耐久性、耐食性等に優れており、様々な災害に対応できます。



ダイプラ株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3丁目1-3（ノースゲートビルディング16F）

TEL : 06-6453-9270 FAX : 06-6453-9300

URL : <https://www.daipra.co.jp/>

No. 08 岩盤切削工法／岩盤切削機 (2500SM) Surface Mining technology/Surface Miner (2500SM)

岩盤を掘削するには発破が利用されますが騒音、振動、粉塵、飛石などの問題を抱えています。最近では、環境に対する意識の向上と、市街地や重要構造物周辺での施工が多くなるにつれ、発破に変わる工法として、奥村組土木興業とヴィルトゲン社がサーフィスマイナーを共同開発しました。これらの問題点を考慮し厳しい制約を十分にクリアするよう設計され、岩盤の掘削工事を精度良く効率的に進めていくことが可能な岩盤切削機械です。

岩国飛行場 (H27) 愛宕山地区工事



奥村組土木興業株式会社
OkumuragumidobokukougyouCo.Ltd.

〒552-0007 大阪市港区弁天6丁目1番3号 (奥村ナイスワークビル4F)
特殊工事課 (岩盤切削機担当) TEL : 06-6572-3588

No. 09 複合探査システム 「表面性状」と「地中内部」の同時調査が可能な複合システム

特徴

- レーザー (表面性状) と電磁波レーダ (地中空洞調査) 装置を車両に搭載
- ひび割れなどの表面性状と空洞・埋設管などの内部状況の同時調査
- 滑走路・道路など表面と内部の同期したデータの取得
- データ統合より劣化の複合的な判定が可能。状況の一括管理が可能



お問合先: 株式会社三井E&Sマシナリー
担 当: 森島 東京都中央区築地5-6-4 TEL : 03-3544-3085

調査依頼: 株式会社三井E&Sテクニカルリサーチ
担 当: 三宅 岡山県玉野市玉3-1-1 TEL : 0863-23-2620

No. 10 TOKOドーム (高強度) Arch-shell structure

- 概要: 折鋼板構造材をアーチ状に曲げる技術と、曲げ加工機を合わせて開発しました。この技術で開発されたアーチシェルドームは、軽量高強度で柱・梁がなく、内部が広く使え、工期も短く、ボルト接合なので容易に移設も出来るという特長を持っています。
- 実績: このアーチシェルドームは南極昭和基地重機車庫、廃棄物保管場所などで200棟以上の採用実績があり、その強度と耐久性は抜群です。



東光鉄工株式会社
TOKO TEKKO Co. Ltd.

〒018-5752 秋田県大館市本宮字上八野8
TEL : 0186-42-6403 FAX : 0186-42-6424
URL : <http://www.toko-akita.co.jp> E-mail : dome@toko-akita.co.jp

No. 11 鴻池CSFP工法／帯塗くん 既存天井の落下防止工法

『帯塗 (タイト) くん』は、繊維入り強化塗料を用いたユニークな既存天井の落下防止工法です。天井にネットを設置したり解体・新設する従来の改修工法に比べ、工期やコストを大幅に削減でき、天井面の美観も損ねません。第三者機関から技術性能証明 (GBRC性能証明第17-27号) を取得済みで、学校の食堂や講堂等において実績のある、安心・安全な工法です。

※CSFP工法協会 (鴻池組、鴻池ビルテクノ、桐井製作所、日本樹脂施工協同組合) にて工法を運用

株式会社鴻池組
KONOIKE CONSTRUCTION Co. Ltd.

〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-6-1 本町南ガーデンシティ
TEL : 06-6245-6523 FAX : 06-6245-6524
URL : <http://www.konoike.co.jp/> E-mail : csfp@konoike.co.jp



「タイトくん」が、工法の特徴や施工手順などを分かりやすく説明します。

※YouTubeにて動画公開→



No. 12 ライトサンド

せん断強度が高く、軽量で排水性に優れる土工材料

- 概要：ライトサンドは石炭火力発電所から産出される石炭灰の一種であるクリンカアッシュを製品化したもので、主に土木工事における土地造成材料、サンドマット材等の他、緑化基盤材など多岐にわたって採用実績があります。
- 特徴：
 - ・無数の細孔があり、湿潤密度は 1.4 t/m^3 程度⇒軽い（多孔性）
 - ・せん断抵抗性に優れる（ $\phi \geq 35^\circ$ ）⇒強度が大きい
 - ・高い排水性能（ $k \geq 10^{-4} \text{ m/sec}$ ）⇒水はけが良い
 - ・保水性、保肥力、生物担体性能⇒植物との相性が良い



ライトサンド写真

中国電力株式会社

〒730-0041 広島県広島市中区小町4-33 TEL：082-545-1543
FAX：082-544-2661 URL：http://www.energia.co.jp/

中国高圧コンクリート工業株式会社

〒730-0041 広島県広島市中区小町4-33 中電ビル2号館 TEL：082-243-6928
FAX：082-244-9058 URL：http://e-grid-gr.energia.co.jp/kouatsu/

No. 13 駐屯地・基地機能確保と建設コスト削減

Ensuring functions of the camps and bases, and reducing construction costs

●概要

雨水排水管：強化プラスチック複合管「エスロンRCP」
下水道、雨水排水老朽管路更生、耐震化工法：「SPR工法」「オメガライナー工法」
水道管、建物給水管、埋設消火管：耐震型高性能ポリエチレン管「エスロハイパー」
災害用マンホールトイレ：「防災貯留型仮設トイレシステム」
多機能型：「パネルタンク」



積水化学工業株式会社
SEKISUI CHEMICAL CO., LTD.

〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー
TEL：03-5521-0741 FAX：03-5521-0557 URL：https://www.eslontimes.com/

No. 14 社会に息づく大型コンクリート製品 多分割ボックスカルバート工法

Precast concrete method of construction

ヤマックスでは運搬可能な寸法や重量に分割したプレキャスト部材を工場で製造し、施工現場では部材を組み立てて接合するだけで構造物の構築が可能な分割式プレキャスト製品を提供しております。形状は矩形のボックスカルバートやアーチカルバート、さらには二連・三連…多連ボックスカルバートなど現場状況に応じて最適な形状にて設計ご提案し、高耐久性及び耐震性向上並びに工期短縮、優れたコストパフォーマンスを実現します。



株式会社ヤマックス
YAMAX Co. Ltd.

〒862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目9番5号
TEL：096-381-1421 FAX：096-384-5339
URL：http://www.yamax.co.jp/

No. 15 落雷を抑制し電子機器等を守る

(PDCEの現状と今後の展開)

●概要

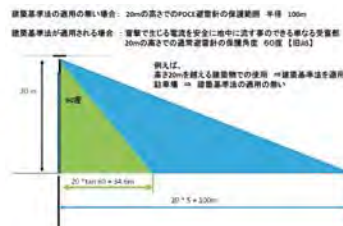
落雷を誘導する従来型避雷針では、直撃雷による情報ネットワーク網を守れない。この直撃雷を抑制する避雷針の原理とこの原理を生かした設備を紹介します。

●実績

日本及びアジアの国々で1800台以上使用中



PDCE-Junior PDCE-Magnum



株式会社NDSネットワーク 首都圏営業所

〒336-0034 埼玉県さいたま市南区内谷7-3-27 コムシス浦和ビル3F
TEL：048-753-9428 FAX：048-753-9429
URL：http://www.nds-g.co.jp/nnk/

No. 16 UFC (ダクトル) 耐爆パネル

爆発や衝撃から重要構造物を守る

- 強靱・高耐久で耐衝撃性に優れたUFC (ダクトル) 耐爆パネルを適用することで、爆発や衝撃から構造物を守ります。
- 防衛大学校との共同研究で様々な衝撃実験を実施し、UFC (ダクトル) 耐爆パネルの高い耐衝撃性能を検証しています。薄く、軽いパネルであり、新設のみならず既設構造物へも適用でき100年以上の耐久性を示します。

重錘落下衝撃実験

RCパネル、UFCパネルに対しての衝撃実験を行った。

(115kgの重錘を約11m/sの速度で衝突させる。)

わずか6cm厚のUFCパネルが、18cm厚のRCパネルと同等以上の高い耐衝撃性を有していることを確認。



大成建設株式会社
TAISEI Co. Ltd.

【お問い合わせ先】〒163-0606 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル公共第一営業部
TEL : 03-5381-5116 FAX : 03-3348-8471 URL : <http://www.aisei.co.jp> E-Mail : taizo@ce.aisei.co.jp

No. 17 ジオテキスタイルを用いた震災道路段差軽減工法 ジオブリッジ工法

The road faults protection caused by the earthquake adopted the geotextile reinforced soil

ジオテキスタイルを用いた補強土を用いて、地中構造物の段差防止を図る新しい工法であり、踏掛版による方式と比較して、段差軽減の性能の向上および工期・コストを低減が可能な工法です。

- 砕石をジオテキスタイルで包み込むことで、高い剛性を与えた補強土構造
- 従来工法から工期・コストの低減が可能、メンテナンスが不要 (高耐久性)
- 実証試験より段差50cmまでの走行性を確保した対策が可能



前田建設工業株式会社
MAEDA Corporation

〒102-8151 東京都千代田区富士見二丁目10番2号
TEL : 03-5276-5165 FAX : 03-5276-5266 URL : <http://www.maeda.co.jp>

No. 18 NE-RESOLVE空中電磁法システム

- 概要：空からつかむ地質・地下水の三次元情報
- 特徴：現地に立ち入らず空中から広域の地盤調査ができます。
 1. 探査深度は深さ150m程度で、調査地の3次元的地質・地下水の構造が把握できます。
 2. 人が立ち入れないところを迅速に調査できます。
- 実績：広域の地下水調査、斜面調査、トンネルなど200件以上



大日本コンサルタント株式会社
NIPPON ENGINEERING Co. Ltd.

〒170-0003 東京都豊島区駒込3-23-1
TEL : 03-5394-7616 FAX : 03-5394-7625 URL : <https://www.ne-con.co.jp/>



次回イベント告知

Next Event

METF2019 13th Military Engineer Techno-Fair 第13回 ミリタリー・エンジニア・テクノフェア

(防衛施設に関する新技術展示会)

Annual New Technology Exhibition related to the Defense Facility Engineering

2019年9月4日(水) 10:00~17:30

グランドヒル市ヶ谷

4 September 2019 10:00-17:30 Hotel Grand Hill Ichigaya

出展団体の紹介

Exhibition Organizations

No. 19 Discover SAME

<http://themilitaryengineer.com/>

“SAME（通称：サミー）”は1920年に創立され、98年間、国家安全保障をエンジニアの観点から支援するミッションを掲げています。我々は軍・公・民・教育機関、および専門機関との連携を重要視し、各分野で活躍する方に専門知識を増やす機会、自己啓発プログラム、また他のプロフェッショナルとのネットワークやコミュニティー作りを企画、支援しています。



アメリカミリタリーエンジニア協会
Society of American Military Engineers

c/o MMC エグゼカティブプランチ米海兵隊キャンプ・スメドリー・パトラークユニット35023, FPO, AP 96373-5023 URL: <http://www.same.org/Japan> E-mail: sameokinawa@gmail.com

No. 20 認定特定非営利法人 日本地雷処理を支援する会

Japan Mine Action Service

JMASは、専門技術を有する自衛隊OBが中心となり、技術指導を通じた地雷・不発弾処理や、地域復興支援プロジェクトを実施しているNGO団体です。

2002年「我々にしかできない仕事」との想いから活動を始め、現在は4か国で支援事業を行っています。現地の人々自らの発展」を支援すべく、「地雷や不発弾の無い世界」を目指して国際貢献活動を続けています。



特定非営利活動法人 日本地雷処理を支援する会
Japan Mine Action Service

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-8-10 川内ビル10階
TEL: 03-6261-7851 FAX: 03-6261-7852
<https://jmas-ngo.jp/jmas/>

No. 21 OPARTNER 国際キャリアへ 学び、つながり、働こう。

<http://partner.jica.go.jp>

国境を越えて活躍したい人がある、そんな人を求めている企業や団体がある。「PARTNER」はその両者を結び付けるとともに、あなたが国際人として活躍するための最新の「学び」「つながり」「仕事」に関する情報を提供する『国際キャリア総合情報サイト』です。

「PARTNER」は、「オールジャパンの国際協力活動促進」という理念のもと、国際協力に関わる全ての方々のために、JICAの情報のみならず、国際機関、開発コンサルティング企業、国際協力NGO/NPO、国際協力関連機関、政府機関・地方自治体、大学、民間企業など、幅広い実施主体の国際協力関連情報を、一元的に発信しています。



独立行政法人 国際協力機構 国際協力人材部 PARTNER事務局
Japan International Cooperation Agency

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA市ヶ谷ビル
<https://www.jica.go.jp/>

No. 22 自衛隊東京地方協力本部

JSDF TOKYO
Provincial Cooperation Office

地方協力本部は、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の共同機関です。

東京地方協力本部は、自衛隊の総合窓口として活動し、主として自衛官の募集等を行っております。現在も、平成30年度の自衛官候補生を募集しています。

また、次年度募集も並行して行っております。一般の社会人や学生といった自衛官未経験者を「予備自衛官補」として採用・公募する制度もございますので、興味のある方は是非ブースまでお越し下さい。



自衛隊東京地方協力本部
JSDF TOKYO Provincial Cooperation Office

〒162-8850 東京都新宿区市谷本村町10番1号（外務省子弟寮跡地）
TEL・FAX: 03-3269-3513 E-mail: adm1-tokyo@pco.mod.go.jp
<http://www.mod.go.jp/pco/tokyo/>

次世代を担うミリタリーエンジニアの創出

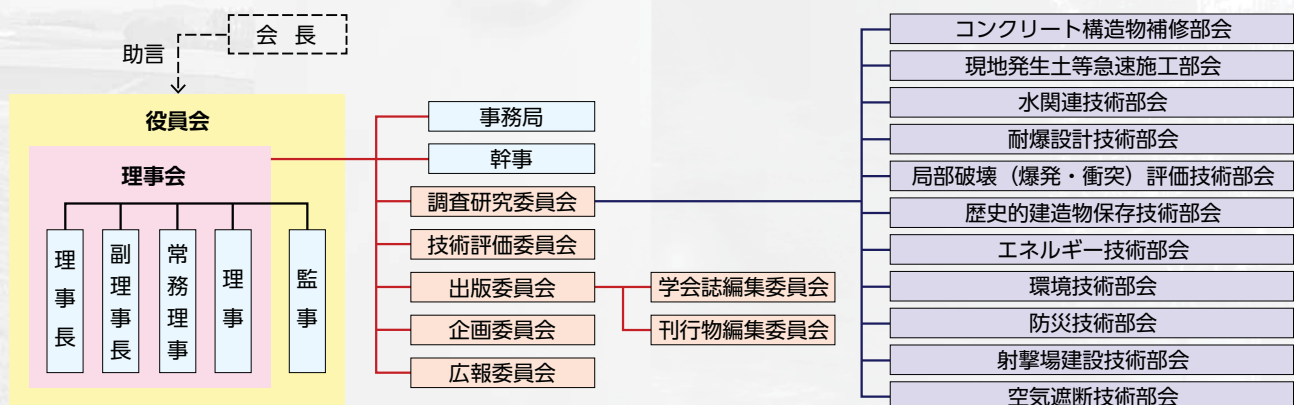
一般社団法人 防衛施設学会について

我が国の安全保障の基盤を担う自衛隊、在日米軍が使用する防衛施設は、飛行場、港湾施設、演習場等、多種多岐に亘っています。防衛施設技術とは、防衛施設を中心とする建設工学、自然科学及び軍事工学から構成される極めて多角的な総合技術です。

防衛施設学会は、我が国で唯一の防衛施設技術を中心とする関連分野の学会です。

組 織

防衛施設学会組織図



- (注) 1 学会の意思決定機関は、総会である。
 2 監事は役員会の構成員であるが、理事会の構成員ではない
 3 幹事は理事会を補佐し、理事会決定事項を執行する

入会のご案内

一般社団法人防衛施設学会は、正会員、法人会員及び学生会員によって構成されています。

本会では、活動を発展させていくため、正会員、法人会員及び学生会員の入会勧誘キャンペーンを実施しています。

会員の専門分野は、防衛施設に関連する建設技術（建築学、土木工学、材料工学、環境工学等）、軍事技術など多岐にわたり、それぞれ専門の大学・研究所・関係官庁の技術者・研究者はもちろんのこと、関連技術をお持ちの一般企業の技術者・研究者の入会をお待ちしております。

※本会は、主として正会員の年会費（4,000円）と、本会の活動にご賛同いただいた法人会員の年会費（50,000円）によって運営されています。

会場案内図



問い合わせ先 (一社) 防衛施設学会

<http://www.jsdfe.org/>
電話 : 03-6273-0328 FAX : 03-3292-1485
E-mail : gakkai@jsdfe.org

